

中津市民病院化学療法プロトコール

【レジメンNo】H-37

申請日	承認日	委員長	印
レジメン登録日 (見直し 2020/3/16)	仮承認日	承認者	印

DRd(DLd)(7コース目以降)療法	病名	多発性骨髄腫	血液内科	医師名
---------------------	----	--------	------	-----

対象 前治療歴を有する再発又は難治性の多発性骨髄腫

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)																
			1	5	10	15	20	25	30										
ダラザレックス(ダラツムマブ)	16mg/kg	div	○																
レブラミド(レナリドミド)	15~25mg/Body	p.o	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デキサート(デキサメタゾン)注	20mg/Body	div	○																
デカドロン(デキサメタゾン)錠	20mg/Body	p.o		○															
デカドロン(デキサメタゾン)錠	40mg/Body	p.o				○			○				○						

投与間隔・休薬期間等: 28日=1コース

1コース

ダラザレックスは4週に1回投与、レブラミドは21日間連続投与、7日間休薬を1コースとする
デキサメタゾンは、週に40mg/body投与

【投与処方例(前投薬など)】※0.22ミクロン以下のインラインフィルターを使用

初回(6コース目までにインフュージョンリアクションにより投与速度を上げることができていない症例)

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液50mL+デキサート注20mg /div 15分
- ③ メイン【赤-2】アセリオ注1000mg /div 15分
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液100mL /div 30分
- ⑤ メイン【赤-4】生理食塩液1000mL+ダラザレックス /div (※)

2回目以降(初回投与開始～3時間以内にインフュージョンリアクションがなかった場合)

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液50mL+デキサート注20mg /div 15分
- ③ メイン【赤-2】アセリオ注1000mg /div 15分(650mgまで減量可)
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液100mL /div 30分
- ⑤ メイン【赤-4】生理食塩液500mL+ダラザレックス /div (※)

※ダラザレックスの速度

初回	生理食塩液1000mLに溶解し、最初の1時間(50mL/hr)1～2時間(100mL/hr)2～3時間(150mL/hr)以降(200mL/hr)まで増量可能
2回目	初回投与開始から3時間以内にインフュージョンリアクションがなかった場合、生理食塩液500mLに溶解し、最初の1時間(50mL/hr)1～2時間(100mL/hr)2～3時間(150mL/hr)以降(200mL/hr)まで増量可能
3回目以降	初回及び2回目投与時に最終速度が100mL/hr以上でインフュージョンリアクションが認められなかった場合、最初の1時間(100mL/hr)1～2時間(150mL/hr)以降(200mL/hr)まで増量可能

	前投薬(ダラザレックス投与前日) モンテルカスト錠(10)1錠1×夕食後
	前投薬(ダラザレックス投与日)
day1	レスタミンコーワ錠(10)4錠1×ダラザレックス投与1時間前
day1	モンテルカスト錠(10)1錠1×ダラザレックス投与1時間前
	内服(ダラザレックス投与翌日)
day2	デカドロン錠(4)5錠1×朝食後
	内服(ダラザレックス投与がない週)
day8.15.22	デカドロン錠(4)10錠2×朝昼食後